

テニスの全米オープンで、日本人として初の決勝進出を果たした錦織圭選手の活躍に建設会社も沸いている。「コートサーフェイスを全米オープンと同じ仕様に仕上げた。このコートでの試合経験も生かしているだけではないかもしれない」。国際大会が行われる有明コロシウム（東京都江東区）のセンターコートの補修を手掛けたNIPPONの関係者は興奮した様子でそう語る。

発注者の要請もあって、同社は11年夏から秋にかけて実施されたセンターコ

錦織選手の全米オープン決勝進出



有明コロシアムのセンターコートで行われた12年10月7日の楽天オープン決勝。躍動した錦織選手は、ツアー2勝目を手にした。

建設関係者の丁寧な作業も貢献

トの張り替えには、全米オープンが行われているナショナルテニスセンター（ニューヨーク）と同じ米デコターフ社のクッションコート「デコターフ」を採用。コート表面のわずかな凹凸の張り替えには、全米オープンで平らにするなど、平滑性の確保に努めた。錦織選手は、優勝した12年秋の楽天オープンをはじめ、有明での試合経験が豊富にあり、丁寧な作業も貢献した。

錦織選手の活躍に加えて、2020年東京五輪を控え、競技施設は改修需要の増加が見込まれており、熱戦の舞台を整える各社の取り組みも一段と注目を集めそうだ。